



琵琶湖周航の歌100周年記念・周航する音楽祭
加藤登紀子プロデュース・県民参加型コンサート

第5回

びわ湖音楽祭

題字/秀蓮



2023

6.11 SUN 開場/15:00
N 開演/15:30

[会場] ひこね市文化プラザ
グランドホール

〒522-0055 彦根市野瀬町 187-4
TEL.0749-26-8601 FAX.0749-26-8602

[チケット料金] (全席指定席) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

一般/前売4,000円 当日5,000円
青少年(24歳以下) /前売2,000円 当日2,500円

[チケット販売開始] 4月14日(金)

[チケット販売]

- ◆ひこね市文化プラザチケットセンター
☎0749-27-5200 (受付9:00~19:00)
- ◆びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
☎077-523-7136(受付10:00~19:00)
- ◆びわ湖芸術文化財団オンラインチケット
<https://biwako-arts.or.jp/rd/>
- ◆平和堂くらしのサービスセンター
アル・プラザ彦根 ☎0749-24-4196
アル・プラザ長浜 ☎0749-65-7720
アル・プラザ近江八幡 ☎0748-31-2906
ピバンティ平和堂 ☎0749-27-5585

特別ゲスト!



滋賀県出身
ダイアン津田さん

屋外イベント

びわ湖音楽祭ストリート

～高校軽音Live x むすびフェス&マルシェ～

時間/ 11:00 ~ 15:00 (ステージライブは、14:30まで)
場所/ ひこね市文化プラザ円形広場

- 主催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団、びわ湖音楽祭実行委員会
- 後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会
- 滋賀県アートコラボレーション事業 (この事業はびわ湖音楽祭実行委員会と(公財)びわ湖芸術文化財団が協働して実施しています。)
- 第73回(令和5年度)彦根市春の文化祭 協賛事業

■お問い合わせ びわ湖音楽祭実行委員会事務局 〒520-0044 大津市京町2丁目4-23
TEL.080-3841-4252(担当：小松) Mail / 2023info@biwakoshuko100.com

●新型コロナウイルス感染症拡大防止対応措置をとっての開催となりますので、マスクの着用や検温等へのご協力をお願いいたします。
●当日、体調に不安のある方はくれぐれもご無理なさらないようお願いします。 ●感染症予防対策をはじめ、やむを得ず出演者・プログラム、当日の対応等に変更が生じる場合があります。ご理解、ご協力をお願いいたします。





加藤 登紀子

1965年、東大在学中に第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー。「ひとり寝の子守唄」「百万本のバラ」「知床旅情」「琵琶湖周航の歌」などヒット曲がある。N.Y.カーネギーホールで2度のコンサートを成功させたのに続き、'92年にパリのラシガール劇場でのコンサートが認められ、フランス政府より芸術文化勲章「シュバリエ」が贈られた。女優として『居酒屋兆治』（1983年）に出演。宮崎駿監督のアニメ映画『紅の豚』（1992年）では声優としての魅力も発揮した。2009年滋賀ふるさと大使就任。
公式ホームページ<http://www.tokiko.com>

- 最新CD ウクライナ支援アルバム『果てなき大地の上に』
- 近著 『百万本のバラ物語』加藤登紀子著（光文社）

出演者プロフィール

ダイアン津田

1976年、滋賀県愛荘町生まれ。
1999年NSC大阪校22期生。

本名、石村篤宏。芸名の津田は、結婚前の旧姓。

中学校の同級生、ユースケ（西澤裕介）とコンビを組む。ダイアンとは中学校時代の英語教員の名前

から。加藤登紀子さんとは、遠縁の親戚、加藤の曾祖父が守山市の木浜の出身。2021年愛荘町のふるさと大使に就任した。



彦根児童合唱団



第27回西日本なかよし児童合唱祭

昭和41年設立。50年以上の長きにわたり、彦根市内をはじめ近郊の幼児から高校生までの児童・生徒とともに活動しています。

現在は小中学生を中心に団を構成しており、国内・海外の愛唱歌、合唱曲のほか、演奏会ではアカペラ曲や合唱ミュージカルにも取り組んでいます。

演奏活動は年1回(4～5月頃)の定期演奏会を中心に、主に彦根市内にて行っています。



いなえ少年少女合唱団は、学校週5日制がスタートした1992年、当時の稲枝地区公民館長様のお声かけにより、子どもたちの地域の受け皿として、また歌を通じて交流を深め、仲間との輪が広がる文化サークルとして発足しました。現在、彦根市稲枝地区の小中学生を中心に彦根市内の子どもたち(年長～高校生)が在籍し、活動しています。

レパートリーは合唱曲の他、ミュージカル、ボディパーカッションもあります。

近年はア・カペラの曲にもチャレンジ中です！合唱を通じて一人一人が自分の個性を伸ばし認め合う力を、また年齢や学校の枠を超えて、優しい気持ちで仲間とハーモニーを奏でられるように活動しています。

指導：三ツ橋美幸、小嶋弥生

彦根JYOY ジュニアオーケストラ



仲間と心一つに合奏する楽しさを通して音楽の輪を広げ、地域文化の向上に参画していくことを目的に、平成6年4月に結成いたしました。団員は小学生から大学生まで約15名でバイオリン・ピオラ・チェロ・コントラバスといった弦楽器を演奏する弦楽オーケストラです。毎年開催している定期コンサートに向けて月に3～4回の練習を重ねています。またこれまで『びわ湖アートフェスティバル』（びわ湖ホール）全10年間参加、『滋賀県アートコラボレーション事業』（米原市民交流プラザ）Enjoy the classic 3回シリーズに参加するなどの演奏活動をしています。

滋賀学園ジャズ部(SJO) オーケストラ部



滋賀学園ジャズオーケストラ部は滋賀県で唯一の高校生ジャズバンドです。もともとは吹奏楽部を主体に活動してきましたが、2020年に正式にジャズオーケストラ部を発足し、今では吹奏楽コンクールに加え、ジャズのコンクール「ジャパン スチューデント ジャズフェスティバル」や各地のジャズフェスティバル、地元地域のコンサートなどに出演させていただいております。 本日は少しでも多くのお客様に「滋賀学園ジャズオーケストラ部」略して「SJO(エス・ジェイ・オー)」を知って頂けたら幸いです。

いなえ少年少女合唱団

「悠久の街」市民コーラス

湖東ワークショップ



長浜バイオ大学の校歌「悠久の街」は、加藤 登紀子さんの作詞・作曲です。「悠久の街」とは長浜市のことで、歌詞には大学のみならず市民にも愛唱してほしいとの加藤さんの長浜市への熱い思いが込められています。

出演の市民コーラスは、地元地域でそれぞれ活動していますが、長浜バイオ大学の入学式、卒業式、学園祭などで「悠久の街」を歌唱しています。また、「琵琶湖周航の歌」100周年を期して、「長浜音楽祭」、「彦根音楽祭」、高島市での「琵琶湖周航の歌音楽祭合唱コンクール」、「日本のうたごえ祭典in 京都」などでも披露した経験があります。加藤さんの歌唱による「悠久の街」のCD が最近完成しました。「第3 回びわこ音楽祭」で初めて、加藤さんと市民コーラスとの歌唱が実現しました。



湖東ワークショップグループは、打楽器を中心に演奏を行っています。平日は、作業所などで働いているメンバーたちで、月2回土曜日に集まりナビゲーターの先生を迎えてステップアップ21で練習をしています。発足は平成17年で月1回の練習から始まりました。その年より「糸賀一雄記念賞音楽祭」に出演し、以降、2020年まで16回連続で参加しています。湖東ワークショップの魅力の一つが打楽器以外にダンスや楽団士が物語でつながったユニークな作品など多様なパフォーマンスであり、その根本には、「お客さんにも一緒に楽しんでもらいたい」という気持ちを持ちながらパフォーマンスをしているところにあると思います。そんな湖東ワークショップの繊細かつダイナミックな魅力溢れるパフォーマンスをお楽しみください。



■会場

ひこね市文化プラザ

〒522-0055 滋賀県彦根市野瀬町187-4

■バスでのご来館

- JR彦根駅(西口)から、湖国バス 三津屋線 三津屋行き(開出今経由)「文化プラザ口」下車徒歩4分
- JR南彦根駅(西口)から、湖国バス 県立大学線 県立大学行き「ひこね市文化プラザ」下車

■車でのご来館 名神高速道路 彦根ICより約25分

■お問い合わせ

びわ湖音楽祭実行委員会事務局

〒520-0044 大津市京町2丁目4-23

TEL.080-3841-4252(担当:小松)

Mail / 2023info@biwakoshuko100.com

音楽の絵本

おんがくのえほん

0歳のお子様から入場できる
親子のためのクラシックコンサート

金管五重奏のブラスアンサンブルと弦楽四重奏の弦つよぎ
動物たちが織りなす不思議なクラシックコンサート
『音楽の絵本』の世界へようこそ！

©SUPERKIDS

予定曲目

- ・ルスランとリュドミラ序曲
(作曲：格林カ／編曲：石川亮太)
- ・アルプス一万尺
(アメリカ民謡／編曲：石川亮太)
- ・弦うさぎの好きないろ
(編曲：石川亮太)
- ・ルパン三世のテーマ
(作曲：大野雄二／編曲：大塚子龍)
- ・レイルロードファンタジー！
(アメリカ民謡／編曲：石川亮太)

ほか

あかね文化ホール Akane Cultural Hall

2023年7月15日 土

①11:00開演 (10:30開場) ②14:30開演 (14:00開場)

会場
東近江市あかね文化ホール 〒529-1531
滋賀県東近江市市子川原町461-1 TEL: 0748-55-0207

チケット発売日

一般販売 2023年5月13日(土) 10:00～

全席指定 一般 2,000円/24歳以下 1,000円 (消費税10%税込)

※当日各500円増
※2歳以下ひざ上無料 保護者1名につきお子さま1名まで。(席が必要な場合は有料)

HIGASHIOMIプラスクリニック

※プラスクリニックのチケットは、八日市文化芸術会館窓口のみの販売となります。

プロ演奏者の指導が受けられます！

2023年9月3日(日) 13:00開始～16:00終了

参加料 1,000円(消費税10%税込)

会場:東近江市立八日市文化芸術会館

※詳しくは八日市文化芸術会館HPをご確認ください。

プラスクリニックセット券(消費税10%税込)

一般 2,800円/24歳以下 1,800円

※こちらは音楽の絵本公演とプラスクリニックのセット券です。

予定パート

- ①オーボエ・・・岡山理恵
- ②フルード・・・出口かよ子
- ③クラリネット・・・古賀喜比古
- ④トランペット・・・高見信行
- ⑤打楽器・・・高木真雅恵
- ⑥トロンボーン・・・竹本裕一



八日市文化芸術会館 オンラインチケット
ひわ湖芸術文化財団 オンラインチケット



チケットのご購入はオンラインチケットシステムが便利です！

プレイガイド

- あかね文化ホール・八日市文化芸術会館オンラインチケットシステム
<https://yokaichi-bungei.com/ticket>
- 八日市文化芸術会館(窓口8:30～17:15/月曜・祝翌日休館)
- ひわ湖ホールチケットセンター TEL: 077-523-7136
(現金・窓口販売のみ/窓口10:00～19:00/火曜休館。但し休日の場合は翌日休館)
- ひわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://www.biwako-arts.or.jp/rd>

profile - プロフィール -

ZORASIAN BRASS



まじめでしっかり者のオカピが、大好きな音楽で生きていこう、と決めたのは今から少し昔のことです。北極での演奏に限界を感じていたホッキョクグマと一緒に、世界のいろんな国をまわって、孤高のトランペッターインドライオン、お調子者のスマトラトラを見つけ出しメンバーに誘います。噂を聞きつけたドックラングールが、ぼんやり眠ってばかりのマレーバクを誘ってオカピに会いに来ました。そうして結成されたのが金管五重奏ズーラシアンブラスなのです。

弦うさぎ

the String Quartet of Tsuru-Usagi

「弦うさぎ」は、うさぎの四姉妹の弦楽四重奏団。左から、メグ、エイミー、ベス、ジョーの四姉妹です。作曲家の父とバイオリニストをめざしていた母。その影響で小さい頃からクラシック音楽を聴いて育った四姉妹でしたが、父親が作曲の旅に出てしまい、母も一緒に世界各国をまわっているため、一年のほとんどは姉妹のみで生活しています。寂しさを紛らわそうと姉妹で始めた演奏会が街中で大評判。その息のあった演奏と幻想的な世界を紡ぎ出す音楽性に惹かれ、遠方から聴きに来る人々も絶えなくなったとか。かくして「弦うさぎ」弦楽四重奏団がうまれたのです。



びわ湖 ○アーティストズ○みんぐる2023 ○ガチャ・コン ○音楽祭vol.3

地域×アート×電車 こどもプログラム&ライブパフォーマンス

日 8月18日
2023年



ガチャコンによって
アートがやってくる
ふしぎなえき
おと・つごぎ・いる・かたち
じつまでも

アートをあそぶよ、いつまでも
ジャンルは越えるよ、どこまでも

2023年
9月18日 (月祝)

劔噴・入場料

無料(要予約)

音楽

田辺響

音楽

山本啓

こどもプログラム会場

滋賀県立文化産業交流会館

ダンス

佐藤健大郎×野田まどか

ライブパフォーマンス会場

近江鉄道「高宮駅」

美術

藤野裕美子

プロジェクトディレクター

野村誠

プロジェクトコーディネーター | 野田智子 (Twelve Inc.)、永尾美久 主催 | 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀
後援 | 滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 協力 | 近江鉄道株式会社、杉本太鼓商、小野町太鼓踊保存会

つくるはつづくよどこまでも

2023.9.18 (月・祝)
子どもプログラム会場
子どもプログラム【美術】【ダンス】は事前日程でも開催

滋賀県立文化産業交流会館



ライブパフォーマンス会場
 近江鉄道「高宮駅」

地域×アート×電車 子どもプログラム&ライブパフォーマンス

びわ湖・アーティスト・みんぐる『ガチャ・コン音楽祭』は、近江鉄道(ガチャコン)沿線を舞台にした地域とアートが結びつく音楽イベントです。今年のテーマは「太鼓」。滋賀在住の気鋭アーティストが地域の太鼓をリサーチして、ダンス、美術、ヴァイオリン、パーカッションでの新しいパフォーマンスをつくり、高宮駅でのライブ『ジャンルは越えるよ、どこまでも』で発表します。また、子どもの参加プログラムとして『アートをあそぶよ、いつまでも』を開催します。

子どもプログラム

アートをあそぶよ、いつまでも

出演アーティストとともに、ライブで披露するための作品をつくります。その作品がホームの舞台で接続(せつぞく)する時、どんな気持ちになるだろう?アーティストたちの作品づくりや驚きのパフォーマンスを間近で感じる特別プログラムです。

○音楽コース (2チームに分かれて開催)

音楽は生活と共にあるもの。身近にある素材や日用品から様々な楽器を作ってみます。音の特徴を活かした音遊びやアンサンブルを楽しみ、最後は楽器を持って電車に乗って、ホームの舞台上で演奏します。

日時 | 9月18日(月・祝) 10:00-16:30
(うち15:30-16:30はライブ出演鑑賞時間です)

実施会場 | 滋賀県立文化産業交流会館
(米原市下多良2-137)

○ダンスコース (2日間の開催)

体の動きを感じて、自由に楽しく踊ります。一人の動き、みんなの動き、布を使った動きなど…。最後にはお客さんに楽しんでもらう振りをお客さんと一緒に考えます。

日時 | 9月16日(土) 13:00-16:30
 9月18日(月・祝) 10:00-16:30
(うち15:30-16:30はライブ出演鑑賞時間です)

実施会場 | 滋賀県立文化産業交流会館
(米原市下多良2-137)

○美術コース (別日開催 午前/午後どちらか)

伝統的な日本画材「胡粉(ごふん)」「雲母(きら)」「岩絵具」を使って、みんなで模様を描きます。仕上がった絵は、ライブ会場に展示、舞台の一部となります。

日時 | 9月3日(日)
 10:00-12:00/14:00-16:00
(9月18日13:30-16:30はライブ参加時間です)

実施会場 | 共同アトリエ Soil
(東近江市垣見721-6)

9月18日の解散後場所 | 近江鉄道「高宮駅」(彦根市高宮町)

定員 | 各コース10名程度
*【美術】は午前/午後各5名ずつ

対象 | 小学生以上

料金 | 無料(要申込)

持ち物 | 水筒・お弁当・電車の運賃

*持ち物はコースによって異なります。詳細は、申込完了後にご連絡します。*本プログラムは、ワークショップでの作品づくり、休憩時間、電車移動、ライブパフォーマンスへの参加が含まれたものです。スタッフが安全に配慮して同行します(主催者が傷害保険に加入します)。

ライブパフォーマンス

ジャンルは越えるよ、どこまでも

高宮駅が舞台になる60分。観客はホームを移動しながら鑑賞します。近江の太鼓文化をもとに、野村誠ディレクションで、滋賀のアーティストたちが交流(=みんぐる)して創作した新作パフォーマンスです(子どもたち登場のシーンもあります)。

日時 | 9月18日(月・祝) 15:30-16:30
受付は30分前より行います。

開催場所 | 近江鉄道「高宮駅」ホーム
(彦根市高宮町)

*駐車場のご用意はありません。近江鉄道でご来場ください。*ホームの移動に階段がございます。ご不便をおかけしますがご了承ください。

定員 | 50名
 料金 | 無料(要申込)



高宮駅ホーム

申込方法

下記2次元バーコードまたはHP上の申込フォームに必要事項を入力の上送信してください。

*1回2名までお申込みいただけます。*定員を超えるお申し込みがあった場合は抽選により参加者を決定いたします。

子どもプログラム | ライブパフォーマンス



8月27日(日) 締切



9月11日(月) 締切

問い合わせ先

(公財)びわ湖芸術文化財団 法人本部地域創造部
 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1
 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール内
 電話 | 077-523-7146
 メール | biwako-a-mingle33@biwako-arts.or.jp
 H | P | https://biwako-mingle.art

出演アーティスト

音楽 田辺響 (打楽器奏者) TANABE Hibiki

打楽器奏者としてこれまでに様々なバンドやプロジェクトに参加。2017年より世界の楽器を取扱う店「RAGAM(ラーガム)」を運営。世界各国の楽器や音楽文化を紹介する講演やワークショップなども各地で行う。



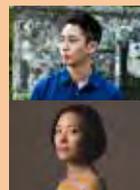
音楽 山本啓 (ヴァイオリニスト、サウンドアーティスト) YAMAMOTO Hiraku

ヴァイオリニスト、作曲家、イベントプロデューサー。ループやエフェクトを駆使し、クラシック以外のあらゆるフィールドで演奏活動を行う。また、2004年に結成したインストバンドNABOWAのメンバーとして国内外で活動中。



ダンス 佐藤健太郎×野田まどか(コンテンポラリーダンサー) SATO Kentaro×NODA Madoka

ロームシアター京都、滋賀県立美術館のPVに出演。現在は大津市比叡平に家族で在住し、コミュニティ形成の一環として「比叡平ダンスクラブ」を立ち上げ、環境に含まれる身体を模索するワーク/レッスンをこなす他、イベント「GoGo Dance Disco!」の定期的な開催、また小学校への出前WSを行う。また同地域のアーティストとつくる、霧散型文化祭「WE LIVE HERE PROJECT」を遂行中。



美術 藤野裕美子 (美術作家) FUJINO Yumiko

各地に残る空家や過疎の地域などの取材をもとに作品制作を行う。家に残された家財道具や日用品、繁茂する植物を継ぎ接ぎするように構成し日本画材で描く。建築や鑑賞者と絵画の関係を結ぶように展示空間を展開する。2021年滋賀県次世代文化賞受賞。共同アトリエ Soil (東近江市)を拠点に活動。



プロジェクト 野村誠 (作曲家) ディレクター NOMURA Makoto

演劇、ダンス、美術、飼育、福祉、相模など分野を越境する作曲家。「千住だじゃれ音楽祭」(東京)、「世界のしょうない音楽祭」(大阪)、「鳥取銀河鉄道祭」(鳥取)、『どんどん日田どん』(大分)など人の交流を創出すプロジェクトを監修する。著書に「音楽の未来を作曲する」(晶文社)ほか。



びわ湖・アーティスト・みんぐる2023
 『ガチャ・コン音楽祭 vol.3』



プロジェクトディレクター | 野村誠
 プロジェクトコーディネーター | 野田智子 (Twelve Inc.)、永尾美久
 フライヤーデザイン | 永尾美久
 主催 | 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀
 後援 | 滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、
 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会
 協力 | 近江鉄道株式会社、杉本太鼓、小野町太鼓踊保存会
 第59回滋賀県芸術文化祭参加事業

地域×アート×電車 こどもプログラム&ライブパフォーマンス

2023年 9月18日 (祝)

アートをあそぶよ、いつまでも
ジャンルは越えるよ、どこまでも

こども
プログラム
さんかしゃぼしゅう
参加者募集

8月27日(日) 締切



ガチャコンによって
アートがやってくる
ふしぎなえき
おと・うごき・いろ・かたち
つくるはつづく
どこまでも

2023年
9月18日 (祝)

参加費・入場料
無料(要予約)

こどもプログラム会場
滋賀県立文化産業交流会館

ライブパフォーマンス会場
近江鉄道「高宮駅」

音楽
田辺響

音楽
山本啓

ダンス
佐藤健太郎×野田まどか

美術
藤野裕美子

プロジェクトディレクター
野村誠



ガチャコンについて
アートがやってくる
ふしぎなえき
おと・うごき・いろ・かたち
どこまでも

アートをあそぶよ、いつまでも
ジャンルは越えるよ、どこまでも

地域×アート×電車
子どもプログラム&ライブパフォーマンス

アートをあそぶよ、いつまでも
ジャンルは越えるよ、どこまでも



ガチャコンについて
アートがやってくる
ふしぎなえき
おと・うごき・いろ・かたち
どこまでも

2023年
9月18日 月祝

子どもプログラム会場

滋賀県立文化産業交流会館 > 近江鉄道「高宮駅」

ライブパフォーマンス会場

音楽

田辺響

音楽

山本啓

ダンス

佐藤健大郎×野田まどか

美術

藤野裕美子

プロジェクトディレクター

野村誠

▼詳細はこちら

プロジェクトコーディネーター | 野田智子 (Twelve), 永尾美久 主催 | 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀
後援 | 滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 協力 | 近江鉄道株式会社、杉本太鼓商、小野町太鼓保存会

問い合わせ先 (公財)びわ湖芸術文化財団法人本部地域創造部 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール内
電話 | 077-523-7146 メール | biwako-a-mingle33@biwako-arts.or.jp HP | https://biwako-mingle.art



第53回
滋賀県
芸術文化祭
参加事業

令和5年度滋賀県
アートコラボレーション事業

Beautiful
Hummingbird

♪ 小組曲
「ピタゴラスイッチ」

♪ 帝国のマーチ
(ダース・ベイダーのテーマ)

♪ ウメボシジンセイ
(NHK「みんなのうた」より)

♪ 川口くんの
おすすめトラッド

♪ 竹の大地

♪ 島唄
(THE BOOM)

ほか

※曲目は変更する場合があります。

森の 音楽会

参加者募集!
手作り竹楽器の
体験ワークショップ
9/22(金) 16:30~
※詳しくは、
裏面をご覧ください。

栗コーダー
カルテット

& ビューティフル
ハミングバード

& 東京楽竹団

コンサート

日時：2023年

9月23日(土・祝)

開場：13:30 / 開演：14:00

主催：公益財団法人びわ湖芸術文化財団

みずほ文化センター(指定管理者)株式会社ケイミックスパブリックビジネス

後援：滋賀県教育委員会 / 彦根市 / 彦根市教育委員会 / 彦根商工会議所
稲枝商工会 / 彦根商店街連盟 / e-radio エフエム滋賀

◆この事業はみずほ文化センターと
公益財団法人びわ湖芸術文化財団が
協働して実施しています。



お問い合わせ：みずほ文化センター 彦根市市原町11番地

TEL:0749-43-8111 FAX:0749-43-8112

みずほ文化センターは、入場時、上履きに履き替えてご入場いただく施設になっています。

スリッパを用意しておりますが、よろしければ上履きをご持参ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしく申し上げます。



会場

みずほ文化センター

Mizuho Bunka Center

多目的ホール

入場料(自由席・消費税10%税込)

一般 前売 2,000円(当日2,500円)

青少年(24歳以下)前売 1,000円(当日1,500円)

※3歳児以上有料

販売開始日：7月8日(土)

プレイガイド

● 平和堂アル・プラザ彦根らしのサービスセンター TEL:0749-24-4196

● ビバシティ平和堂らしのサービスセンター TEL:0749-27-5585

● ハーティセンター秦荘 TEL:0749-37-4110

● びわ湖ホールチケットセンター TEL:077-523-7136

(10時~19時 火曜日、休日の場合は翌日、8/13~8/18休館 現金・窓口販売のみ)

● びわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://biwako-arts.or.jp/rd/>

● ひこね市文化プラザチケットセンター TEL:0749-27-5200

● みずほ文化センター TEL:0749-43-8111 (窓口 9:00~17:00/火曜日・祝翌日休館)

森の音楽会

9月23日(土・祝)

開場 13:30 / 開演 14:00

NHK「ピタゴラスイッチ」でもお馴染みの栗コーダーカルテットがやってくる。

スペシャルゲストにビューティフルハミングバード、東京楽竹団を迎え、この日限りの特別な公演をお届け致します。

皆さまお誘いあわせの上、是非お越しください。お待ちしております！

栗コーダーカルテット

3人なのにカルテット!? NHK Eテレ「ピタゴラスイッチ」や、通称「やる気のないダースベイダーのテーマ」などでもお馴染みのインストゥルメンタルバンド。映画、テレビ、舞台、CMへの楽曲提供を含め、参加CDは100を超える。0歳からシルバー世代までが集うファミリーコンサートやロックフェスティバルなど多方面にイベント等にも出演し、あらゆる層から歓迎されている。2020年9月にカバー曲とオリジナル曲の2枚組アルバム「25周年ベスト」を発表。最近の仕事として、NHKみんなのうた「花さかニャンコ」「きみがいるから」(谷山浩子)の編曲・演奏、舞台「大地」(作・演出三谷幸喜)、TVアニメ「とんでもスキルで異世界放浪メシ」の音楽担当、TBSラジオ「金曜ワイドラジオTOKYO えんがわ」テーマ曲制作などがある。今回はワールドスタンダード他で活躍するギタリストの安宅浩司を迎えた4人で演奏します。



Beautiful Hummingbird

ビューティフルハミングバード

小池光子(ボーカル)、タバティ(ギター)による2人組。2002年結成。あたたかさとしなやかさを合わせ持つ声としなやかなアコースティックギターの音色が独自の世界を作る。二人で作るオリジナル曲は幅広い世代から愛されている。全国各地でコンサートを行う。またアジア各国でも公演し、海外アーティストとも共演、交流を深めている。住友林業、西松屋、カゴメなど数多くのCMソング、ほか各種メディアでの活動も多数。NHKみんなのうた「ウメボシジンセイ」の歌と演奏、NHK Eテレ おかあさんといっしょ「もくもくふゆーん」作曲、NHK Eテレ いないないばあ!「ミラーミー」作詞作曲、webCM「ハミングウォーター」作詞作曲出演など。11年ぶりのオリジナルアルバム「Sincere」(シンシア)を2022年12月にリリース、全国4都市でリリースツアーを行った。



小池光子

タバティ

東京楽竹団

TOKYO RAKUTAKEDAN



日本の社会に深く関わりを持つ「竹」を使い、今までにない「日本の音」の創造をテーマとして結成。その音作りはメンバーが竹林に入り竹を一本一本切り出す作業から始まり、楽器から演奏まで一貫した「ものづくり」を特徴としている。ステージではオリジナル曲とアレンジ曲を織り混ぜ、自作竹楽器を使った音楽性・パフォーマンス性の高い表現で、刺激と安らぎに満ちた音の世界を創り出す。活動のフィールドはホールでのコンサートを始め、テレビ出演や各種学校での芸術鑑賞会、竹楽器製作・演奏指導のワークショップなど多岐に渡り、今も全国各地で竹の音色を響かせている。



木下卓巳

足本みよ子

丸田菜穂

三宅まどか

竹で作られた手作り楽器に触れてみよう!

- ◆日時: 9/22(金) 16:30~ 約1時間 ◆会場: みずほ文化センター
- ◆対象: 小学生以上(ただし公演チケット購入者) ◆定員: 20人 **参加無料**
- ◆申込受付: 7月8日から、みずほ文化センターにて受付 ※定員になり次第締め切ります

みずほ文化センター

Mizuho Bunka Center

tel: 0749-43-8111 fax: 0749-43-8112

住所: 〒521-1105 彦根市田原町 11 番地

休館日: 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)

アクセス: 電車 > JR琵琶湖線「稲枝駅東口」からタクシー約5分
徒歩約30分

お車 > 名神高速道路 湖東三山スマートIC
(ETC搭載車のみ利用できます) から約 25分



第53回滋賀県芸術文化祭参加事業

令和5年度滋賀県アートコラボレーション事業

狂言

「金剛輪寺 豆の木太鼓」



金剛輪寺に伝わる昔話

原作 昔話 豆の木太鼓
作 木村 正雄
演出 網谷 正美

公演日時 2023年
9月24日(日)

開演14:00 (開場13:30) 全席自由

会場 愛荘町立ハーティーセンター秦荘 大ホール

入場料 前売(税込) 一般 1,000円 24歳以下 500円
6月24日(土)より発売 ※当日各200円増(税込)

プレイガイド ハーティーセンター秦荘、愛知川公民館、るーぶる愛知川(愛知川駅)、
ひこね市文化プラザチケットセンター、みずほ文化センター、八日市文化芸術会館、
彦根・東近江地域勤労者互助会(会員のみ)
びわ湖ホールチケットセンター【現金・窓口販売のみ】(10:00~19:00) 火曜日休館
びわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://biwako-arts.or.jp/rd/>

問合せ先 愛荘町立ハーティーセンター秦荘
〒529-1234 愛知郡愛荘町安孫子822番地 電話:0749-37-4110 FAX:0749-37-4113
URL:<https://www.heartycenter.jp/> E-mail:info@heartycenter.jp

公演内容

コーラス「豆の木太鼓」

新作狂言「豆の木太鼓」

(県民参加型事業)

狂言体験ワークショップ

(誰でも参加できます)

古典狂言「附子(ぶす)」

出演

茂山千五郎、茂山茂、網谷正美

山下守之、コーラスしゃぼん玉

【主催】 (公財) びわ湖芸術文化財団
(一社) 愛荘町文化協会(ハーティーセンター秦荘指定管理者)

【後援】 愛荘町・愛荘町教育委員会・e-radio エフエム滋賀

※1 この事業は(一社)愛荘町文化協会と(公財)びわ湖芸術文化財団が協働して実施しています。



ハーティーセンター秦荘オフィシャルスポンサー

滋賀建機株式会社 中島商事株式会社

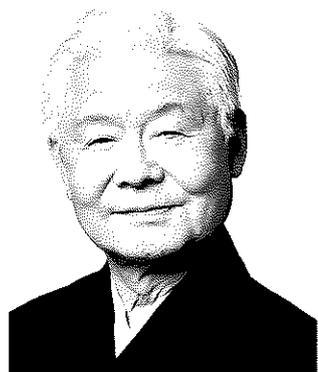
ハーティーセンター秦荘オフィシャルサポーター

(有)宮川石油 いとし工務店 (有)高橋プロパン
(株)ナショナルメンテナンス (株)シガコアレス 近江印刷(株)
個別指導さくら 愛知印刷(株) カナリヤ楽器(有)

狂言 金剛輪寺 豆の木太鼓

あらすじ

愛荘町金剛輪寺に伝わる昔話「豆の木太鼓」は、昭和60年（1985年）にTV「まんが日本昔ばなし」で放映され、愛荘町を代表する昔話となりました。その内容は、金剛輪寺の和尚さんが秋になったら蒔こうと大事にしていたソラマメを小僧さんたちが食べてしまいました。しかし、一粒だけ残ったソラマメを小僧さんたちが仏様に祈りながら大事に育てたところ、豆の大木となり多くのソラマメが収穫でき、食べるものに困っていた村人は救われました。その豆の大木から作ったという太鼓が金剛輪寺に現在も伝わっています。



網谷正美 プロフィール

1947年3月15日生まれ
四世千作、木村正雄に師事

1965年、京都大学入学と同時に、同大学狂言研究会に入会して木村正雄に師事。

1971年、能楽養成会に入会し四世千作に師事。それとともに同志社高等学校に勤務。以来41年にわたり二足のわらじを履続け、2012年同志社を退職。

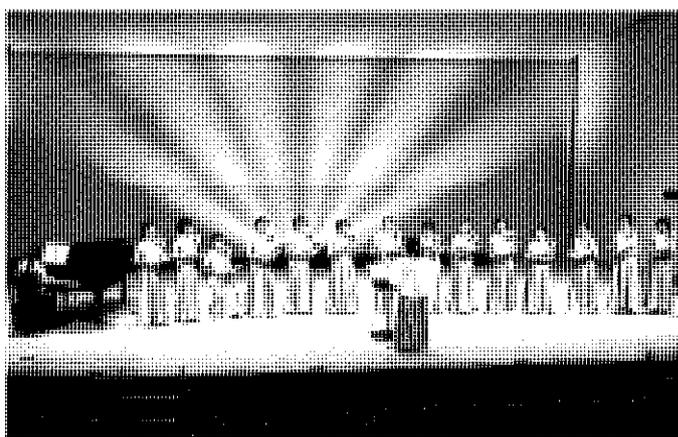
1984年に、同門 丸石やすし・松本薫らと共に「三笑会」を結成。27年間、年5回の「狂言三笑会」（発足当時は「狂言勉強会」）開催し、2011年のファイナル公演まで131回を数えた。

現在では各地での公演活動、また京都学生狂言研究会をはじめ、京都・大津・鹿児島に稽古場を持ち、狂言の普及に努めている。



平成5年女声コーラスグループを結成し30年地域のボランティアグループとしても活動している。日本の美しい心や情景を歌う唱歌・抒情歌を中心に歌う。また後世に伝えたい地域の民謡

歴史を題材にしたオリジナル曲を歌い続けてきた。平成22年より毎年の定期コンサートを目標にし、今年第13回「コーラスしゃぼん玉海の日コンサート」を開催。



会場アクセス

名神高速道路 湖東三山SIC(ETC専用)から国道307号線を左折(約200m)、上蚊野交差点を右折し4つ目の信号左折すぐ。
JR稲枝駅ほか愛荘町内外の停留所から「愛のリタクシー」なら、400円でお越しいただけます。ご乗車の1時間前までに近江タクシー(0749-22-1111)へお電話ください。

愛荘町立 ハーティーセンター秦荘

〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子822番地
Tel 0749-37-4110 Fax 0749-37-4113
URL: <https://www.heartycenter.jp/>
E-mail: info@heartycenter.jp



びわ湖・アーティスト・
みんぐる

3

Current
Creation
Composition

シーキューブ

vol.1 古典と現代音楽の《関》^{かん}

弦楽四重奏 × 現代音楽 の切り口で

近江・滋賀を巡りながら、その風情や土地に根付く伝統の魅力、世界観を探るC³。
初回は大津を舞台に酒井健治が比叡山を描きます。

曲目

ジョン・ケージ — 4部分の弦楽四重奏曲
ラヴェル — 弦楽四重奏曲 へ長調
酒井健治 — 弦楽四重奏曲 第1番「フローティング・フェイス」
リゲティ — 弦楽四重奏曲 第1番「夜の変容」 生誕100周年
イェルク・ヴィトマン — 弦楽四重奏曲 第3番「狩」

びわ湖芸術文化財団
委嘱新作・世界初演

出演

ルリトラノオ弦楽四重奏団
亀井庸州 (ヴァイオリン)
松岡麻衣子 (ヴァイオリン)
安田貴裕 (ヴィオラ)
竹本聖子 (チェロ)

日時 2023 10 / 28 15:00 開演
[14:30 開場]

会場 **フィガロホール** 滋賀県大津市
中庄一丁目16-14

チケット 一般 3,000円 | 24歳以下 1,500円 (消費税10%税込)
全席自由 [発売日:7月29日(土)]

チケット ▶びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
取り扱い (10:00~19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日 8/13~18は休館)
▶びわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://biwako-arts.tstar.jp/>

お問い合わせ — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 ☎077-523-7146

主催 — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀 後援 — 滋賀県教育委員会
協力 — フィガロホール、古民家カフェ SORA、和田神社、京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo
第53回滋賀県芸術文化祭参加事業 | この公演は、サントリー芸術財団 佐治敬三賞推薦コンサートです。

音楽を通じて知と感性を刺激し合うような出会いや交流を目的とした地域アートプロジェクト「びわ湖・アーティスト・みんぐる」。この新シリーズとして、現代音楽界をけん引する旬の作曲家が、ハイドン以降、完全なる四声体として作曲技術の根幹をなす「弦楽四重奏」という形態で新しい表現に挑戦します。

C³は今年から3年をかけ、古代から交通の要衝であった滋賀の街道沿いの土地を巡り、毎回開催地にちなんだ新曲を発表。初回は関西出身の世界で活躍する酒井健治氏に委嘱します。また現代音楽のスペシャリストによるルリトラノオ弦楽四重奏団を結成、レジデント・アーティストとして滋賀の魅力を内外に発信します。

タイトルの「C³(シーキューブ)」はCurrent×Creation×Compositionの造語。みっつの“C”でクラシック音楽の未来を描きます。全体のテーマは禅語の《関(かん)》。道のりを歩いていく過程で様々な関門を通過した先に開かれる音楽をイメージしてお贈りします。

プレコンサートでは、現代音楽を研究する京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCoの学生も企画に参画。次世代の音楽家と現代音楽の普及活動を行います。

「フローティング・フェイス」は比叡山をハイキングして着想された新作になります。いつもは空想や観念から作品のアイデアを得る事が多いのですが、今回は身体全体で比叡山を漂うオーラを体感してきました。

目に見えないイメージを表現するのに音楽という芸術はとても似合うのではと考えております。是非会場で皆様も神秘性を体感して頂きたいと考えております。

酒井 健治

びわ湖・アーティスト・みんぐる

C³ シーキューブ vol.1 古典と現代音楽の《関》

2023年10月28日(土) 15:00開演 / 14:30開場



LIGATI
100



文化で滋賀を元気に!



酒井 健治

©Mashine Link



亀井 庸州



松岡 麻衣子



安田 貴裕



竹本 聖子

酒井健治〈作曲〉さかい・けんじ

大阪府出身。京都市立芸術大学卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院を最優秀で卒業し、Ircam(フランス国立音響音楽研究所)にて研究員を務める。作品はリヨン国立管、ルツェルン響、N響、読売日響、レ・ヴァン・フランセなどによって世界初演されている。武満徹作曲賞第一位、エリザベート王妃国際音楽コンクール大賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、芥川作曲賞、ローマ賞、青山音楽賞「青山賞」など受賞多数。また名古屋フィルハーモニー交響楽団コンポーザー・イン・レジデンス、オーケストラ・アンサンブル金沢コンポーザー・オブ・ザ・イヤヤーを歴任し、現在京都市立芸術大学准教授。同大学現代音楽研究会 club MoCo顧問を務める。

亀井庸州〈ヴァイオリン〉かめい・ようしゅう

2000年ごろから主に同世代の作品初演を中心に活動を開始。東京音楽大学卒業後、2005年よりベルギー王立リエージュ音楽院において、欧州の20世紀音楽や即興演奏を学んだ。2007年より帰国後も引き続き同世代の作品初演活動に携わる。個人企画のほか、東京オペラシティ音楽財団、サントリー芸術財団、みなとみらいホール等の主催公演に出演し、内外の作曲家による室内楽、ソロ作品の初演、再演を中心として活動している。作曲家本人との共同作業にて初演した作品は100曲を超える。また、尺八においても演奏活動を行っており、劇伴作品としてNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」などへの音源提供を行なっている。

ルリトラノオ弦楽四重奏団

C³のレジデント・アーティストとして、現代音楽のスペシャリストにより結成された団体。名前の由来は、滋賀県米原市の伊吹山山頂にのみ自生する「瑠璃色をした虎の尾に似た花の名」から命名。花言葉は「常に微笑みを持って」。

松岡麻衣子〈ヴァイオリン〉まつおか・まいこ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。IEMA(フランクフルト音楽・舞台芸術大学)にて研鑽を積む。アンサンブル・リネア、アンサンブル・モデルン等の現代音楽演奏団体で、世界各地の現代音楽祭やコンサートに出演。日本現代音楽協会主催「演奏コンクール」[競奏XI]第2位。近現代作品の演奏を軸に、17年結成のフィディアス・トリオ(クラリネット・ヴァイオリン・ピアノ)での活動、他ジャンルのアーティストのコラボレーションも意欲的に行っている。

安田貴裕〈ヴィオラ〉やすだ・たかひろ

東京音楽大学入学後、奨学金を得て州立フロリダ国際大学に入学。帰国後、同時代の作曲家と共に歩むことを主眼に活動を行ない、川上統氏作曲/ヴィオラと管弦楽のための「Cybele」の独奏ヴィオラなどをはじめ、40を上回る作品の初演に携わる。東京オペラシティ主催「コンポージアム」シリーズ、サントリーホール主催のポリニ・パースペクティヴなどにも多く出演している。これまでに川島正雄、三戸泰雄、山口裕之の各氏に師事。

竹本聖子〈チェロ〉たけもと・せいこ

福岡県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。学生時代から作品発表に数多く参加。能楽家 青木涼子による能と現代音楽を掛け合わせたプロジェクトに参加、薬師寺で奉納演奏を行う。川上統の組曲「甲殻」のCD録音及び世界初演、ゼミソン ダリルによる「河原院」他シリーズ、桑原ゆうの無伴奏作品「逢魔が時のうた」改訂世界初演など、ジャンルの垣根を越えた演奏活動を送っている。「淡座」メンバー、「オーケストラ・トリブティーク」首席奏者。

会場

フィガロホール

滋賀県大津市中庄一丁目16-14

アクセス | JR琵琶湖線(東海道線)「石山駅」(京都駅から13分)又は「膳所駅」で京阪電車・石山坂本線に乗り換え。「中ノ庄駅」より徒歩3分
※当ホールには駐車場がありません。お車でお越しの際は、市営駐車場をご利用ください。



旧東海道沿いでプレコンサートを開催します

日時 2023年9月24日(日)

- ①11:30~12:15予定 古民家カフェ SORA
- ②14:00~16:00予定 フィガロホール
- ③17:30~18:15予定 和田神社

出演 亀井庸州(ヴァイオリン)、酒井健治(レクチャー)
京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

料金 無料 ※①は事前申込制・先着順、ワンドリンク制



詳細はこちらから

令和5年度滋賀県アートコラボレーション事業

関西フィルハーモニー管弦楽団 ニューイヤーコンサート



独奏
和波 孝禧
(ヴァイオリン)

©Shigeto Imura

©s.yamamoto

指揮
藤岡 幸夫

©SHIN YAMAGISHI

令和6年

1.21日 14:30 開演
[14:00 開場]

甲賀市あいこうか市民ホール

入 場 料	一 般	4,000円
	24歳以下の方、65歳以上の方、 障害者手帳をお持ちの方、その介助の方(1名)	2,000円
	《全席指定》※消費税10%込 ※前売・当日同一料金 ※未就学児入場不可	

チケット発売日

令和5年11月4日 10:00~



ご来場の皆様に
アール・ブリュット作品
「正己地蔵」
プレゼント!

プレイガイド

- 甲賀市あいこうか市民ホール
- アル・プラザ水口くらしのサービスセンター
- びわ湖ホールチケットセンター (現金・窓口販売のみ)
- びわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://biwako-arts.tstar.jp/>
- 一般財団法人甲賀湖南中小企業福利サービスセンター (会員のみ)
- ローソンチケット(Lコード 52581)

プログラム

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
アンダーソン：舞踏会の美女
ヨハン・シュトラウスⅡ：美しく青きドナウ、ポルカ「浮気心」
ヨゼフ・シュトラウス：憂いもなく、ポルカ「燃える恋」
ヴォルフ＝フェラーリ：歌劇「マドンナの宝石」より第2幕への間奏曲
ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕の前奏曲



同時開催 あいこうか市民ホール展示室

やまなみ工房作品展
～アール・ブリュットの世界へようこそ～

令和6年1月13日 10:00～1月28日 10:00
入場無料

【主催】公益財団法人びわ湖芸術文化財団、甲賀市、甲賀市教育委員会
【後援】株式会社しがぎん経済文化センター、e-radio エフエム滋賀、社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会
【協力】社会福祉法人やまなみ会やまなみ工房



この催しは、令和5年度滋賀県
アートコラボレーション事業として、
公益財団法人びわ湖芸術文化
財団と甲賀市あいこうか市民ホ
ールの2者が協働で実施しています。



お問い合わせ

甲賀市あいこうか市民ホール(月曜日休館)

〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5633 TEL. 0748-62-2626 FAX. 0748-62-2625 E-mail aikoka-hall@city.koka.lg.jp



藤岡 幸夫

Sachio Fujioka

関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降数多くの海外オーケストラに客演。2017年5月のアイルランド国立響ではマーラーの第5交響曲で聴衆総立ちの大成功を収めた。マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者と東京シティ・フィル首席客演指揮者を務める。毎年

40公演以上を共演し2023年に24年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2019年の就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、関西フィルとのシベリウス交響曲全集を2021年9月ALM RECORDSからリリース。著書『音楽は好きですか?』『続・音楽は好きですか?』を敬文舎から刊行。テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8時30分)は2023年10月で10年目に入、放送500回に迫る人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



和波 孝禧

Takayoshi Wanami

ヴァイオリニスト

1962年第31回日本音楽コンクール第1位・特賞。翌年日本フィルのソリストとして楽壇にデビュー。その後パリのロン＝ティボー、およびロンドンのカール・フレッシュ国際コンクールに上位入賞。

日本を代表するヴァイオリニストの一人として、国内外の主要オーケストラと数多く協演。加えてピアニスト土屋美寧子とのデュオ、チェロの岩崎洸を加えたトリオ、東京での「クリスマス・パッサシリーズ」や演奏にトークを交えた「アフタヌーンコンサート」の開催、サイトウ・キネン・オーケストラへの参加など、多彩な活動を続けている。CDも多く、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を初め、パッサ無伴奏作品全曲、ベートーヴェンとブラームスのヴァイオリンソナタ全集などをリリース。桐朋学園大、東京藝大、愛知県芸大の非常勤講師を勤め、現在は毎夏開催する「八ヶ岳サマーコース」で後進の指導に当たっている。著書に「音楽からの贈り物」と「ヴァイオリンは見た」がある。

2022年12月には東京で喜寿記念コンサート「77から未来へ」を開催し、ブラームスの協奏曲などを演奏して絶賛を博した。「点字毎日文化賞」「文化庁芸術祭優秀賞」「モービル音楽賞」「サントリー音楽賞」などを受賞し、2005年には「紫綬褒章」2015年には「旭日小綬章」を贈られた。

ホームページ <http://www.music-wanami.com>

公益財団法人

関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足の関西を代表するオーケストラ。

2018年公益財団法人化、2020年に楽団創立50周年を迎えた。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが2011年より音楽監督を務めており、首席指揮者の藤岡幸夫、首席客演指揮者の鈴木優人と共に、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開している。

故飯守泰次郎(2023年8月没)は2001年より常任指揮者、2011年より桂冠名誉指揮者を務めた。BSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』(毎週土曜朝8時30分)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を締結。

2015年には楽団初のヨーロッパツアーを開催、各地で大きな注目を集めた。

2021年度音楽クリティック・クラブ賞本賞受賞。

2023年10月に、第2回目となるヨーロッパツアーを実施した。



©s.yamamoto

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>



社会福祉法人やまなみ会やまなみ工房

やまなみ工房は1986年、障害者無認可作業所「やまなみ共同作業所」として滋賀県甲賀市に誕生しました。現在は97人の利用者と26人のSTAFFが在籍し、ともに一人ひとりの個性や人間的な魅力が活かされ、そこで過ごす人も、訪れた人も、誰もが出会いと空間を楽しむことの出来る場所、互いの存在を知り感情が動かされる場所、遊んだり学んだり、食事や会話を楽しんだり、それぞれのいろんな「大好き」や自分の「得意」が大切にされ、目的がなくても訪れたいようなそんな場所です。敷地内にはアトリエやカフェ、ギャラリーやショップ、ライブハウスやシアター、パフォーマンススタジオもあります。やまなみ工房は、様々な表現から感じる個々の本質を大切に、感性とは何か、豊かさとは何かを考え、それぞれの可能性、そしてHAPPYが無限に広がる事を目指しています。

社会福祉法人やまなみ会やまなみ工房(障害者多機能型事業所) 滋賀県甲賀市甲南町葛木872

TEL 0748-86-0334 FAX 0748-86-8911 E-mail atelier@lagoon.ocn.ne.jp WEBSITE a-yamanami.jp

会場

甲賀市あいこうか市民ホール

〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5633

TEL : 0748-62-2626

FAX : 0748-62-2625

mail : aikoka-hall@city.koka.lg.jp

H P : <https://www.city.koka.lg.jp/2217.htm>



電車でお越しの方



お車で越しの方



あいこうか市民ホール

駐車場

令和5年度滋賀県アートコラボレーション事業
滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサート
Celebration2023

山本 英

フルート・リサイタル

Hana Yamamoto Flute Recital

祝 2023年第38回日本管打楽器コンクール第1位

第23回びわ湖国際フルートコンクール・第29回日本木管コンクール第1位
第88回日本音楽コンクール第3位の覇者が
長浜・木之本に初登場

Program

カミュ / シャンソンとバディヌリ

ユレル / エオリア

タイユフェール / フルートとピアノのための
フォルラース

メシアン / 黒つぐみ

メリライネン / 夏の響き

ラヴェル / 水の戯れ

夏田昌和 / 春鶯

吉松 隆 / デジタルバード組曲
他



ピアノ
角野未来

©Ayane Shindo

2024

2/23 祝金 14:00開演
(13:00開場)

木之本スティックホール

●JR木ノ本駅徒歩約6分/北陸自動車道「木之本 IC」より約2分

【チケット料金】 一般 2,000円 / 18歳以下 1,000円
(自由席・消費税10%税込) ※未就学児入場不可

【プレイガイド】 木之本スティックホール ☎0749-82-2411 (火曜日休館、12/29～1/3は休館)
ローソンチケット ☎0570-084-005 (Lコード: 55225)
びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136 (現金・窓口販売のみ)
(10:00～19:00/火曜日休館、休日の場合は翌日。12/29,30,1/1～3は休館。
ただし、チケットセンターは12/30は電話受付のみ、12/31は10:00～17:30営業。)

長浜文化芸術会館・浅井文化ホール等

主催:公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団、公益財団法人びわ湖芸術文化財団

後援:滋賀県教育委員会、長浜市教育委員会 協力:株式会社しがぎん経済文化センター

問い合わせ:木之本スティックホール ☎0749-82-2411



teket
(電子チケット)

チケット発売
11/23
(木・祝)



この事業は(公財)びわ湖芸術文化財団と(公財)長浜文化スポーツ振興事業団が協働で実施しています。

©Ayane Shindo
RINRIE デザイン

滋賀県では、1976年(昭和51年)より毎年、文化の高揚に貢献し顕著な功績のある、もしくは文化の向上発展に寄与し将来が期待される方々を表彰しています。受賞者の中には、国内外で活躍する演奏家も数多く、まさに滋賀の宝といえます。

そのアーティストたちによる地元での創造・演奏活動で地域との絆を深め、より躍進する契機となり、地域の音楽文化が元気になるように2019年より始まったのが、「滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサート」です。

やまもと はな

山本 英 フルート

Flute

10歳よりフルートを始める。大津市出身。

第17回 日本フルートコンヴェンションin ふじのくに静岡 ソロ部門第2位。

2018年 第23回 びわ湖国際フルートコンクール 一般部門第1位、併せて武者小路千家賞。

2018年 第29回 日本木管コンクール フルート部門第1位、併せて兵庫県知事賞。

2019年 第88回 日本音楽コンクール フルート部門第3位、および岩谷賞(聴衆賞)受賞。

2023年 第38回 日本管打楽器コンクール フルート部門 第1位 併せて 文部科学大臣賞、東京都知事賞。

2019年度ヤマハ音楽奨学制度奨学生。

2022年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

平和堂財団より 平成27年度 芸術奨励賞(音楽部門)を受賞。

平成30年度 滋賀県次世代文化賞 受賞。

東京藝術大学学部在学時に 令和元年度 宮田亮平奨学金、令和2年度 安宅賞、卒業時に 同声会賞、アカンサス音楽賞を受賞。

これまでに、日本センチュリー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。

これまでに、フルートを掛村岳志、太田彰、堀井恵、大平記子、高木綾子、斎藤和志、柳原佑介の各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科フルート専攻を経て、現在東京藝術大学大学院音楽研究科在籍。

すみのみらい

角野 未来 ピアノ

Piano Mirai Sumino

1998年生まれ。千葉県出身。

第21回東京音楽コンクール第3位。第20回東京音楽コンクール入選。

第17回ちば音楽コンクール 全部門最優秀賞。

第17回シヨパンコンクールinAsia コンチェルト部門金賞 併せてコンチェルト賞受賞。同大会プロフェッショナル部門銅賞。

NY カーネギーホールでの演奏会「The Passion of Music」に出演。

在学中に藝大クラヴィア賞を受賞し、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。

2020年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。

大学卒業に際して、アカンサス音楽賞、同声会賞、藝大クラヴィア賞を受賞。

また、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団、千葉県少年少女オーケストラと共演。

これまでに金子勝子、吉田友昭、有森博の各氏に師事。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て現在東京藝術大学院音楽研究科在籍。

会場 木之本スティックホール

〒529-0425 滋賀県長浜市木之本町木之本1757-6
TEL 0749-82-2411 FAX 0749-82-2413

事務所営業時間/8:30~17:15
休 館 日/火曜日

■電車でお越しの場合

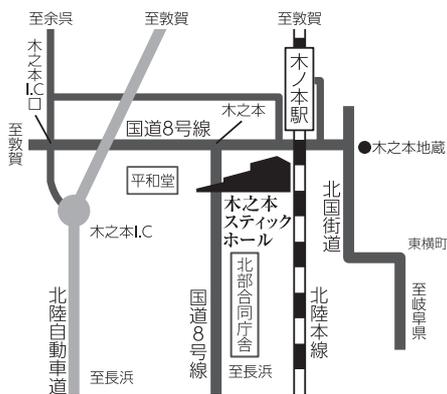
JR北陸本線「木ノ本駅」から徒歩約6分

■車でお越しの方

北陸自動車道「木之本IC」から約2分

お車でお越しのお客様へ

駐車場通路が一部工事のため、国道8号線からの入口が変更になる場合がございます。ご了承ください。



三方よし!

2024年新作狂言

作・小佐田定雄
演出・茂山童司

七道具

チケットをお買い上げの
お客様にミニガイドブック
『おうみ狂言通行手形』
をプレゼント!!

- 3公演のチケットを買って、各会場のスタンプを集めた方に、ご当地名物ギフトをプレゼント!
 - 「近江商人」「街道」ゆかりの施設で割引などのお得がいっぱい!
- ※オンラインでチケットをご購入の方は、各会場にお問い合わせください。



2024年 ① 3月3日(日) 午後2時開演 (午後1時15分開場)

東近江市てんびんの里
文化学習センター

〒529-1421 東近江市五個荘竜田町583
TEL:0748-48-7100

【演目】古典:文相撲、延命袋 新作:七道具

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/> 全席指定

2024年 ② 3月16日(土) 午後2時開演 (午後1時15分開場)

日野町町民会館
わたむきホール虹

〒529-1601 蒲生郡日野町松尾1661
TEL:0748-53-3233

【演目】古典:二人袴、真奪 新作:七道具

<https://www.rmc.ne.jp/watamukihall/> 全席自由

2024年 ③ 3月24日(日) 午後2時開演 (午後1時15分開場)

草津市立
草津クリアホール

〒525-0059 草津市野路6丁目15-11
TEL:077-561-6100

【演目】古典:水掛聲、千鳥 新作:七道具

<https://kusatsu-art.center/creahall/> 全席自由

全会場にてご当地名物の販売あります!
各公演開催地エリアのあの品、この品。
滋賀の銘品をお土産にどうぞ!!

入場料(消費税10%込)
一般 : 2,500円
青少年(24歳以下) : 1,000円

チケット発売日 12月2日(土)
※当日券500円増。未就学児入場不可。

◎チケットお求め先

- 全公演取り扱いー ローソンチケット(Lコード 55953)
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
- ①のみ—— てんびんの里文化学習センター、東近江地域勤労者互助会(会員のみ)
 - ②のみ—— わたむきホール虹、東近江地域勤労者互助会(会員のみ)
(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター(会員のみ)
 - ③のみ—— 草津市立草津クリアホール

きょうげん 狂言って何?

狂言は猿楽を起源とするセリフ劇で、一般庶民のちょっとした失敗話などをユーモラスに描いた喜劇です。昔は、今のコントのようなものだったのでしょう。『むずかしそう』と先入観を持たずに、一度ご覧いただければきっと楽しんでいただけたと思います。

おうみ狂言図鑑とは？

2011年から茂山千五郎家の協力を得て、滋賀県を題材にした新作狂言を制作し、現在までに12の新作狂言が生まれています。これらの作品を「おうみ狂言図鑑」としてコレクションし、滋賀県だけではなく全国でも広く上演されることで、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信し、みなさんに親しまれていくことを目指します。



2024年新作狂言 全公演共通演目

作：小佐田定雄 演出：茂山童司
出演：茂山千五郎、茂山 茂、茂山千之丞

武蔵坊弁慶が世の中が平和になってしまったため失業してしまい、商売道具の七つ道具を売ろうと近江にやって来ます。ところが、横柄な態度で商売をするので全く売れません。そこに通りかかった近江商人が弁慶に、商売の理念「三方よし」の精神を教え、ちょうど通りかかった女に七つ道具を言葉巧みに売ろうとしますが・・・。

古典作品

① 3月3日(日) 東近江市てんびんの里文化学習センター



文相撲 ふ すもう

勝利の秘策は相撲マニュアルにあり?! いざ、はっけよいのこった!

大名：茂山宗彦、太郎冠者：茂山千之丞
新参の者：山下守之



延命袋 えんめい ぶくろ

妻よ、離婚だ。好きなものを持っていけ。では、私はこれを・・・これぞ狂言らしい夫婦愛!

男：茂山あきら、太郎冠者：増田浩紀
妻：丸石やすし

② 3月16日(土) 日野町町民会館わたむきホール虹



二人袴 ふたり ばかま

親子二人に袴はひとつ。このピンチどう切り抜ける?!

髯：茂山虎真、親：茂山逸平、舅：茂山七五三
太郎冠者：茂山茂



真奪 しん ばい

悪いことはするもんじゃない! 泥縄の争いの顛末は?

太郎冠者：茂山あきら、主：島田洋海
道通りの者：茂山宗彦

③ 3月24日(日) 草津市立草津クレアホール



水掛髯 みずかけ わたこ

舅VS髯、水をめぐって幼稚な大喧嘩!

髯：茂山竜正、舅：茂山千五郎
妻：井口竜也



千鳥 ちどり

ツケがあつてはお酒は譲れぬ。さて、芸は身を助く...?!

太郎冠者：茂山逸平、主：丸石やすし
酒屋：茂山あきら



茂山七五三



茂山あきら



茂山千五郎



茂山宗彦



茂山茂



茂山逸平



茂山千之丞



茂山竜正



茂山虎真



丸石やすし



島田洋海



増田浩紀



井口竜也



山下守之

※ 配役・出演者は都合により予告なく急遽変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。